

1 調査の目的

小諸市では、小諸市地域福祉計画・地域福祉活動計画の理念である「『お互いさま』の心で育む支え合うまち・こもろ」を実現するため、社会福祉法に基づき令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間で計画期間として進めてまいりました。

令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの次期計画の策定にあたり、事業の効果を検証するとともに、地域福祉の現状及び地域での暮らしの変化、また、これに伴う課題等、市民の方の感じていることを把握するためにアンケート調査を実施することとしました。

令和元年に行いましたアンケートとほぼ同じ調査事項とすることで、市民の方の意識の変化についても把握したいと考えます。また、今回より事業所向けアンケートも実施することにより、多機関連携の現状や課題等について把握することを、目的としています。

2 調査の種類及び調査対象

調査名	調査対象
第2次小諸市地域福祉計画・小諸市地域福祉活動計画アンケート調査（住民）	市内在住で満16歳以上の市民2,000名 （無作為抽出）
第2次小諸市地域福祉計画・小諸市地域福祉活動計画アンケート調査（事業所用）	市内に事業所及び支店等がある高齢者福祉事業所、児童福祉事業所、障がい者福祉事業所：128事業所

3 調査期間

令和6年（2024年）3月1日（金）～3月31日（日）

【参考】前回調査：令和元年（2019年）8月1日～8月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

<住民アンケート>

	配布数	有効回答数	有効回答率
今回	2,000件	915件	45.8%
前回	2,000件	738件	36.9%

＜事業所アンケート＞

	配布数	有効回答数	有効回答率
今回	128件	128件	100%
前回	—	—	—

6 調査結果の表示方法

- 本文、表、グラフ等に用いられる「n」は、各設問に対する回答者数であります。
- 回答は各質問の回答者数「n」を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上選んでよい設問）の場合においては、%が100.0%を超える場合があります。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計の場合、年代無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、2つ以上の質問項目を掛け合わせ（クロス）したうえで、回答者の属性ごとに違いや特徴を見出すための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い値のところを水色で網掛けをしています。